

# 池田泉州銀行

地域に暮らす人々、働く人々に、昔から親しまれる「池田泉州銀行」。

金融機関として地域を支え、地元の祭りや行事、文化振興のサポートなどの地域活動にも積極的に参加。

「地域第一主義」、「お客さま第一主義」の理念のもと、地域との交流を深め、ともに発展してきた。

市内の各支店には、地元の人々を温かく迎え入れる笑顔があった。



### 1 池田駅前支店

(栄町1番1号)

休日も予約制でローン等の相談を受付。市民が無料で借りられるスペースには、絵、写真、書道等、常に展示が催され、楽しみにしている利用者も多い

寺本さん 内田支店長 岡崎さん

### 2 池田営業部

(城南2丁目1番11号)

1階にある、広々とした応接室の一角を「赤ちゃんステーション」に。おむつ換えや授乳、子どもがぐずる時等、気軽に利用できる

山下さん 藤野さん 越出さん

### 3 池田東支店

(旭丘2丁目4番15号)

窓口は全てローカウンター。じっくり相談できる雰囲気、時には世間話も。「まち角の図書館」が敷地内にあり、近隣住民からも長年親しまれる支店

林さん 橋本支店長 垂見さん

### 4 石橋駅前出張所

(石橋1丁目8番4号)

石橋の中でも特に賑わうサンロードにあり、年金引落日や給与振込日は外まで行列ができるほど利用客が多い

東野さん 佃所長 酒井さん

### 5 石橋支店

(石橋2丁目17番13号)

「石橋商店会」の一員として、お祭りでは模擬店を出したり、会場設営を手伝ったりと、大活躍。餅つき会では約半分を行員がついたのだとか?

土田さん 首藤支店長 柿野さん

### リレーション推進部 地域創生室長 岡田知也さん

▲エンゼル祝品の通帳は「ファミリア」のオリジナルデザイン

「地域の皆さまのお役に立ち、「この銀行が一番やな……」と言って頂きたい」「どんな些細なことでも相談して頂きたい」。地元へ寄り添う温かい言葉が、どの支店にも溢れていた。

「池田銀行」は北摂を中心に成長。平成22年に「旧泉州銀行」と合併し、「池田泉州銀行」に。関西を代表する地銀として地域創生を推進。池田市、商工会議所と共に三者で「地域振興連携協定」を結び、産業界活性化や子育て支援、福祉施策等、ニーズに応じた多彩な取り組みを「リレーション推進部」が行っている。同部の岡田地域創生室長にその中身を尋ねた。

代表的なものは「池田市エンゼル祝品支給制度」。池田市民の出産を祝福するとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い創設されたもので、池田市とともに出生児に「エンゼル祝品(祝金付き)の積立定期預金通帳」を贈呈するもの。平成19年度より第2子を対象にスタートし、平成26年度からは第1子を含む全ての子どもを対象を拡大。最近では、不妊治療や育児にかかる費用をサポートする「妊活・育児応援ローン」の取り扱いを開始。池田市がローンの利息の一部を補助する取り組みも始まっている。池田市から他市に広がる取り組みも多く、地域行政との関係の深ささうかがい知ることができる。

「この銀行が一番やな……」信頼される、身近な存在に

市内にある5支店には、各々に歴史と工夫がある。例えば、昭和39年開設の「池田駅前支店」。駅直結で利便性が高く、集客力は全店トップクラス。様々な試みを行うモデル店舗でもある。平成元年には、休日もATMが利用できる全国初のサービス「サンデーバンキング」の1号店となった。現在は、平日に銀行へ行けない人のために、土・日・祝日に予約制の相談会を実施している。

「旧池田銀行」発足時からある「石橋支店」、昭和60年開設の「石橋駅前出張所」は「石橋商店街」の一員として総会やお祭りに参加。地域の活気に触れる場として、行員も楽しみにしているのだとか。そして、住宅街にある「池田東支店」(昭和54年開設)は、旭丘や畑地区の昔からのお客さんが多く、「互いに顔が分かる関係」を大切にしている。

銀行といえば堅苦しい印象だが、「池田泉州銀行」はむしろ、地元で親しんだ心地良さを感じた。経営やライフスタイルのごとの悩みに、地域性をふまえて相談に応じてくれる専門家の存在は、心強い。

「地域の皆さまのお役に立ち、「この銀行が一番やな……」と言って頂きたい」「どんな些細なことでも相談して頂きたい」。地元へ寄り添う温かい言葉が、どの支店にも溢れていた。

戦後から、そして今も、池田の「まちづくり」を支える存在

「池田泉州銀行」の前身である「旧池田銀行」は昭和26年、地域の発展を願い誕生。「阪急電鉄株式会社」の創業者、小林一三氏に背中を押された清瀧幸次郎氏が創業した。時は戦後、日本経済が安定期を迎えつつある頃、新たな風を吹き込む存在として市民にも歓迎されたことだろう。当時の本店は現在「落語みゆーじあむ(市立上方落語資料展示館)」がある場所スタート。翌年、城南2丁目に待望の本店社屋が完成。「池田営業部」となった現在も、重厚感のある昭和の建築様式が体感できる。

「先輩方が築かれた地域との信頼をさ

### 執行役員 池田営業部長 山形進さん

らに深め、地域のために尽力することが当行の役割です」と山形池田営業部長。「池田営業部」は、地元の数々のイベントや行事に協賛、参加するほか、池田市とも密に連携し、各種会議に参加。「ダイハツ工業株式会社」による三輪自動車の開発など「事始めのまち、池田」として、池田市や商工会議所と連携して池田市での創業を支援する「事始めアシスト池田」を開始するなど、「まちづくり」の中心的存在でもある。



昭和27年、新築直後の「旧池田銀行」本店